

平成29年三重県議会定例会 教育警察常任委員会

I 所管事項説明

- 1 平成29年版成果レポート（案）について…………… 別添
- 2 「三重県財政の健全化に向けた集中取組（案）」における
事務事業等の見直しについて（教育委員会所管分）…………… 1
- 3 「三重県教育ビジョン」の進捗状況について…………… 2
- 4 平成30年度三重県立高等学校募集定員総数の策定について…………… 29
- 5 「三重県いじめ防止条例（仮称）」について…………… 33
- 6 平成30年度全国高等学校総合体育大会総合開会式について…………… 36
- 7 審議会等の審議状況について…………… 40

平成29年 6月21日

教育委員会

2 「三重県財政の健全化に向けた集中取組(案)」における事務事業等の見直しについて(教育委員会所管分)

1 集中取組期間における事務事業の見直し一覧

○この一覧表は、「事務事業の見直し」について、個々の見直しの方向性を整理したものです。

○表ごとの分類の考え方は以下のとおりです。

- ・「(1) 平成29年度の見直し」は平成29年度当初予算において見直しを行ったもの
- ・「(2) 平成29年度から平成31年度における見直し」は、
 - ①平成29年度から平成31年度当初予算にかけて段階的に見直しを行っていく予定のもの(複数回の見直しを行う)
 - ②集中取組期間(平成29年度～平成31年度)のいずれかの当初予算において見直す予定のもの
- ・「(3) 平成30年度の見直し」、「(4) 平成31年度以降の見直し」はそれぞれの見直し(予定)年度の当初予算において見直す予定のもの

○平成30年度以降の見直しについては、現時点の予定であり、平成30年度予算編成以降の議論により、事業の追加も含め、変更される場合があります。

(1) 平成29年度の見直し 該当無し

(2) 平成29年度から平成31年度における見直し 該当無し

(3) 平成30年度の見直し 該当無し

(4) 平成31年度以降の見直し

見直し一覧から教育委員会所管分のみ抜粋

(単位:千円)

No	細事業名 ()内は細々事業名	見直し(予定)年度	見直しの内容(方向性)	平成29年度 予算額	所管部局 名
6	県立学校体育施設 開放事業費	平成32年度	現在、利用者から体育施設の使用にあたって照明代相当の実費のみを徴収しており、体育用具等の損耗や事務にかかる費用は徴収していない。このことから、これら経費について、受益者に応分の負担を求めていく必要があると考え、使用料徴収に向けて検討する。	4,509	教育委員会
7	学力向上のための 高校生ビブリオバトル 推進事業費	平成32年度	本事業によって高校生の間にビブリオバトルは広がりを見せており、高校生の読書活動につながっていることから、平成31年度までは継続することとし、その間に事業効果の検証を続けるとともに、実施方法の見直しを行う。	562	教育委員会
	合計			5,071	

2 集中取組期間における県単独補助金の見直し一覧

該当無し

3 三重県教育ビジョンの進捗状況について

1 概要

三重の教育のめざす姿とその実現に向けた主な取組内容および目標を示す中期計画として、10年先を見据えた4年間（平成28年度から平成31年度まで）を計画期間とする「三重県教育ビジョン ～子どもたちの希望と未来のために～」を平成28年3月に策定しました。

教育ビジョンは30の施策、8つの重点取組にそれぞれ数値目標を掲げており、毎年度の目標達成状況を確認することで、計画の進捗状況を管理していきます。

平成28年度目標の達成状況は、施策で88.1%、重点取組で90.1%が進捗度A（進んだ）またはB（ある程度進んだ）となっていることから、計画1年目の取組は、おおむね順調に進んだと評価しています。

【目標達成状況】

平成28年度目標に対する実績値の割合

A（進んだ）：100%

B（ある程度進んだ）：85%以上100%未満

C（あまり進まなかった）：70%以上85%未満

D（進まなかった）：70%未満

2 施策の進捗状況（詳細は別紙）

基本施策	目標達成状況				
	A 進んだ	B ある程度 進んだ	C あまり 進まなかった	D 進まなか った	未確定
(1)夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	16	3	3	0	0
(2)人との絆や自然との関わりの中で伸びゆく豊かな心の育成	13	9	0	0	0
(3)健やかに生きていくための身体の育成	3	8	0	0	0
(4)自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進	4	2	0	0	0
(5)笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり	6	3	3	0	7
(6)地域に開かれ信頼される学校づくり	8	10	0	0	0
(7)多様な主体による教育の推進と文化財の保護	8	3	0	0	0
合計	58 (53.2%)	38 (34.9%)	6 (5.5%)	0	7 (6.4%)

88.1%

3 重点取組の進捗状況

重点取組名	目標達成状況				
	A 進んだ	B ある程度 進んだ	C あまり 進まなかった	D 進まなかつ た	未確定
(1)学力の向上	6	7	0	0	0
(2)体力の向上と 学校スポーツの推進	1	2	1	0	0
(3)心の教育の推進	3	2	1	0	0
(4)グローバル人材の育成	5	3	1	0	0
(5)特別支援教育の推進	3	0	0	0	0
(6)誰もが安心できる学び場づくり	1	2	0	0	1
(7)地域に開かれ輝く学校づくり	3	0	0	0	0
(8)教職員の資質向上	6	2	0	1	0
合計	28 (54.9%)	18 (35.2%)	3 (5.9%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)

90.1%

4 今後の方針

引き続き、教育ビジョンに位置づけた施策等を推進するとともに、数値目標達成に向けて取り組んでいきます。

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(平成28年度)

別紙

【基本施策1】

夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名	現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
			目標値	実績値		目標値		
(1)学力の育成	成果指標 全国学力・学習状況調査の教科に関する調査における無解答の状況	5	6	7	1.00 (A)	7	8 (全教科)	
	活動指標 「めあての提示」、「振り返る活動」の実施状況	【小学校】 めあて 97.8% 振り返る89.9% 【中学校】 めあて 87.6% 振り返る87.5%	【小学校】 めあて 98.0% 振り返る91.0% 【中学校】 めあて 89.0% 振り返る89.0%	【小学校】 めあて 98.7% 振り返る93.0% 【中学校】 めあて 100% 振り返る96.2%	【小学校】 め 1.00(A) 振 1.00(A) 【中学校】 め 1.00(A) 振 1.00(A)	【小学校】 めあて 99.0% 振り返る93.5% 【中学校】 めあて 100% 振り返る96.5%	【小学校】 めあて 100% 振り返る 94.0% 【中学校】 めあて 92.0% 振り返る92.0%	
(2)外国人児童生徒教育の推進	成果指標 【県・活】日本語指導が必要な外国人生徒のうち、就職または高等学校等に進学した生徒の割合	94.9%	100%	95.8%	0.96 (B)	100%	100%	
	活動指標 日本語で学習する力の習得を支援する授業改善に取り組んでいる学校の割合	小学校 97.7% 中学校 95.8%	小学校 92.6% 中学校 94.5%	小学校 97.9% 中学校 96.2%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 95.1% 中学校 96.4%	小学校 100% 中学校 100%	

施策名	指標名	現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について	
			目標値	実績値		目標値			
(3)グローバル教育の推進	成果指標	高等学校卒業段階で英検準2級以上相当の英語力を習得した生徒の割合	31.2% (H26年度)	45.0%	34.8%	0.77 (C)	50.0%	56.0%	英語の4技能をバランスよく育成するための英語の授業・評価の改善が不十分で、特に生徒のスピーキング・ライティング能力の向上に課題があった。スピーキング・ライティング指導における能動的な授業への転換やCAN-DOリストを活用した生徒の学習定着状況の把握を行う。スピーキング・ライティング指導にかかる先進事例の普及や研究授業公開などにより、生徒が英語を使用する授業の拡充を図る。
	成果指標	中学校卒業段階で英検3級以上相当の英語力を習得した生徒の割合	29.0% (H26年度)	45.0%	33.5%	0.74 (C)	50.0%	56.0%	英語の4技能をバランスよく育成するための英語の授業・評価の改善の取組が不十分であった。今後は、①全校向けのCAN-DOリスト活用講座において授業改善の研修を実施する、②ブロック別研修会(13ブロック)において各地域の実情に応じた技能強化に努める、③研修協力校の協力を得ながら、生徒の発話を促すための授業公開・研究を行うことで教員の英語指導力の向上を図る。
	活動指標	外国語における学習到達目標を設定している学校の割合	中学校17.9% 高等学校18.2% (H26年度)	中学校 51% 高等学校 100%	中学校 100% 高等学校 100%	中 1.00(A) 高 1.00(A)	中学校 100% 高等学校 100%	中学校 100% 高等学校 100%	

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(4)キャリア教育の推進	成果指標	【創】 高等学校(全日制)においてインターンシップを体験した生徒の割合	28.7% (H26年度)	31.0%	31.8%	1.00 (A)	32.5%	35.0%	
	活動指標	【県・活】 地域等の人材を招へいた授業等を行っている学校の割合	小学校 82.9% 中学校 64.0% 高等学校 98.5%	小学校 84.0% 中学校 65.5% 高等学校 100%	小学校 88.4% 中学校 74.2% 高等学校 100%	小 1.00(A) 中 1.00(A) 高 1.00(A)	小学校 89.0% 中学校 75.0% 高等学校 100%	小学校 87.0% 中学校 70.0% 高等学校 100%	
		キャリア教育の全体計画を策定している高等学校の割合	47.1% (H26年度)	70.0%	81.2%	1.00 (A)	90.0%	100%	
(5)情報教育の推進とICTの活用	成果指標	ICTを活用して指導することができる教員の割合	82.2% (H26年度)	83.2% (H27年度)	82.0% (H27年度)	0.99 (B)	83.8% (H28年度)	85.0% (H30年度)	
	活動指標	ICT活用指導力の向上に関する研修を受講した教員の割合	29.3% (H26年度)	33.0% (H27年度)	31.5% (H27年度)	0.95 (B)	36.0% (H28年度)	42.0% (H30年度)	
		情報モラル教育を行った学校の割合	94.3% (H26年度)	95.8% (H27年度)	98.4% (H28年度)	1.00 (A)	97.2% (H28年度)	100% (H30年度)	

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(6)幼児教育の推進	成果指標	【県・活】 小学校の児童との交流を行った幼稚園等の割合	65.6%	76.3%	54.7%	0.72 (C)	84.2%	100%	公立幼稚園においては向上(+6.8%)したが、保育所・子ども園・私立幼稚園では、小学校の児童と交流する行事が減り、数値が減少した。市町の福祉部局や教育委員会に対し、行事等における小学校児童との交流の推進を働きかける。
	活動指標	幼保小連携に関する研修を実施している市町の割合	86.2%	92.0%	100%	1.00 (A)	100%	100%	

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(平成28年度)

【基本施策2】

人との絆や自然との関わりの中で伸びゆく豊かな心の育成

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(1)人権教育の推進	成果指標	人権学習によって、人権を守るための行動をしたいと感じるようになった子どもたちの割合	70.2%	75.0%	74.0%	0.99 (B)	77.0%	80.0%	
	活動指標	【県・活】人権教育カリキュラムを作成している学校の割合	73.3%	82.2%	83.0%	1.00 (A)	90.1%	100.0%	
(2)道徳教育の推進	成果指標	【県・活】人の役に立ちたいと思う子どもたちの割合	小学生 93.7% 中学生 94.1%	小学生 94.1% 中学生 94.4%	小学生 94.5% 中学生 93.0%	小 1.00(A) 中 0.99(B)	小学生 94.4% 中学生 94.6%	小学生 95.0% 中学生 95.0%	
	活動指標	道徳教育推進教師を中心として学校全体で道徳教育に取り組んでいる学校の割合	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	
		「私たちの道徳」および「三重県 心のノート」を年間を通じて計画的・継続的に活用している学校の割合	小学校 47.0% 中学校 16.1%	小学校 60.0% 中学校 20.0%	小学校 52.7% 中学校 18.0%	小 0.88(B) 中 0.90(B)	小学校 90.0% 中学校 50.0%	小学校 90.0% (H29年度) 中学校 80.0% (H30年度)	
		「私たちの道徳」を家庭等で活用するよう長期休業中に持ち帰らせている学校の割合	小学校 90.9% 中学校 84.6% (H26年度)	小学校 100% 中学校 100%	小学校 99.5% 中学校 99.4%	小 0.99(B) 中 0.99(B)	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% (H29年度) 中学校 100% (H30年度)	

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(3)郷土教育の推進	成果指標	【県・活】 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもたちの割合	小学生 41.3% 中学生 30.0%	小学生 46.4% 中学生 35.0%	小学生 69.3% 中学生 61.0%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学生 51.6% 中学生 40.0%	小学生 62.0% 中学生 50.0%	
	活動指標	「ふるさと三重かるた」を活用している幼稚園等・小学校・中学校の割合	幼稚園等91.5% 小学校 91.4% 中学校 61.9%	幼稚園等94.0% 小学校 94.0% 中学校 65.0%	幼稚園等92.4% 小学校 94.6% 中学校 75.6%	幼 0.98(B) 小 1.00(A) 中 1.00(A)	幼稚園等96.0% 小学校 96.0% 中学校 70.0%	幼稚園等100% 小学校 100% 中学校 80.0%	
(4)環境教育の推進	成果指標	環境保全活動に取り組んでいる高等学校の割合	74.1%	81.0%	82.8%	1.00(A)	88.0%	100.0%	
	活動指標	家庭・地域・企業等と連携して、環境教育を推進している高等学校の割合	84.5%	85.0%	86.2%	1.00(A)	90.0%	100.0%	

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(5)読書活動・ 文化芸術活動 の推進	成果 指標	【県・活】 授業時間以外に読書 をする子どもたちの割合	小学校 61.1% 中学校 48.6%	小学校 62.3% 中学校 50.2%	小学校 62.4% 中学校 46.4%	小 1.00(A) 中 0.92(B)	小学校 63.5% 中学校 51.8%	小学校 66.0% 中学校 55.0%	
	活動 指標	学校図書館を活用し た授業を計画的に実 施している学校の割合	小学校 81.8% 中学校 44.7%	小学校 82.6% 中学校 46.0%	小学校 83.1% 中学校 45.3%	小 1.00(A) 中 0.98(B)	小学校 83.4% 中学校 47.3%	小学校 85.0% 中学校 50.0%	
	活動 指標	過去3年間に学校行 事として芸術鑑賞を 実施した高等学校の 割合	87.9%	90.0%	93.1%	1.00(A)	93.0%	100.0%	

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(平成28年度)

【基本施策3】

健やかに生きていくための身体の育成

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進捗度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(1)体力の向上と運動部活動の活性化	成果指標	体力テストの総合評価が「A」・「B」・「C」の子どもの割合	75.1%	75.3%	75.4%	1.00 (A)	75.5%	76.0%	
	活動指標	【県・活】「1学校1運動プロジェクト」に取り組んでいる小学校の割合	77.0%	84.7%	100%	1.00 (A)	92.4%	100%	
(2)健康教育の推進	成果指標	【県・活】毎日、規則正しく寝起きている子どもたちの割合	【小学生】 寝 37.6% 起 59.3% 【中学生】 寝 31.0% 起 55.7%	【小学生】 寝 38.9% 起 60.4% 【中学生】 寝 32.2% 起 57.0%	【小学生】 寝 36.7% 起 57.0% 【中学生】 寝 31.3% 起 55.8%	【小学生】 寝 0.94(B) 起 0.94(B) 【中学生】 寝 0.97(B) 起 0.98(B)	【小学生】 寝 40.2% 起 61.5% 【中学生】 寝 33.4% 起 58.3%	【小学生】 寝 43.0% 起 64.0% 【中学生】 寝 36.0% 起 61.0%	
	活動指標	年間を通じ、給食後の歯みがきを全校で実施している小学校の割合	70.7%	72.0%	69.2%	0.96 (B)	73.0%	75.0%	
(3)食育の推進	成果指標	【県・活】朝食を毎日食べている子どもたちの割合	小学生 86.5% 中学生 84.0%	小学生 87.5% 中学生 85.0%	小学生 87.5% 中学生 84.4%	小 1.00(A) 中 0.99(B)	小学生 88.5% 中学生 86.0%	小学生 90.5% 中学生 88.0%	
	活動指標	食育推進のための校内委員会等を設置している学校の割合	小学校 64.0% 中学校 66.5% (H26年度)	小学校 70.0% 中学校 70.0%	小学生 64.0% 中学生 67.7%	小 0.91(B) 中 0.97(B)	小学校 80.0% 中学校 80.0%	小学校 100% 中学校 100%	

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(H28年度)

【基本施策4】

自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名	現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			目標値	実績値		目標値		
(1)特別支援教育の推進	【県・活】 成果指標 特別支援学級において パーソナルカルテを 活用している小中学校 の割合	59.2%	70.0%	70.7%	1.00 (A)	74.7%	100%	
	【創】 活動指標 小中学校の通常の学級 および高等学校において 個別の指導計画を作成した 学校の割合	小学校 83.3% 中学校 65.3% 高等学校89.4%	小学校 87.0% 中学校 75.0% 高等学校80.0%	小学校 83.5% 中学校 65.7% 高等学校91.1%	小 0.96(B) 中 0.88(B) 高 1.00(A)	小学校 92.0% 中学校 84.0% 高等学校87.0%	小学校100% 中学校 100% 高等学校100%	
(2)特別支援学校における キャリア教育の推進	【県・県】 成果指標 特別支援学校高等部の 一般企業就職希望者の 就職率	100.0%	100%	100%	1.00 (A)	100%	100%	
	【県・活】 活動指標 特別支援学校版キャリア 教育プログラムを作成した 特別支援学校の割合	37.5%	50.0%	62.5%	1.00 (A)	68.0%	100%	

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(H28年度)

【基本施策5】

笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名	現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進捗度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
			目標値	実績値		目標値		
(1)いじめや暴力のない学校づくり	成果指標 【県・活】 小・中・高等学校における1,000人あたりの暴力行為発生件数	小学校 4.4件 中学校 7.6件 高等学校 2.5件	小学校 2.5件 中学校 7.4件 高等学校 2.6件	未確定 (判明時期:6月末)	未確定	小学校 2.2件 中学校 7.2件 高等学校 2.4件	小学校 1.6件 中学校 6.8件 高等学校 2.0件	
	活動指標 いじめや暴力行為等に関するきまりや対応の基準を明確にしたものを保護者や地域住民等に公表し、理解と協力を得るよう取り組んでいる学校の割合	93.0%	94.7%	92.4%	0.98 (A)	96.4%	100%	
(2)防災教育・防災対策の推進	成果指標 学校の防災教育の内容を知っていて、家庭で防災対策について話し合ったことのある県民の割合	15.3%	19.5%	15.7%	0.81 (C)	23.5%	30.0%	防災への関心を高めるため、学校を通じて周知したが、家庭での話し合いは微増にとどまった。引き続き、防災ノートのワークシートの持ち帰りや防災クイズなどのコンテンツを有するポータルサイト「学校防災みえ」の活用を、教職員研修や市町教育委員会訪問時に要請していく。また、学校が実施する防災訓練等が家庭や地域と連携した取組となるよう職員を派遣し、要請していく。
	活動指標 【県・活】 家庭や地域と連携した防災の取組を実施している学校の割合	88.3%	90.0%	90.3%	1.00 (A)	93.5%	100%	

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(3)子どもたちの安全・安心の確保	成果指標	子どもの交通人身事 故発生件数	383件	360件	322件	1.00 (A)	320件	300件	
	活動指標	【県・活】 児童等が交通安全 マップを作製している 小学校の割合	82.9%	85.0%	85.4%	1.00 (A)	90.0%	100%	
(4)居心地の 良い集団づくり (不登校児童生 徒への支援)	成果指標	【県・活】 小・中・高等学校にお ける1,000人あたりの 不登校児童生徒数	小学校 4.6人 中学校 29.7人 高等学校 14.9人	小学校 4.5人 中学校 27.9人 高等学校 14.7人	未確定 (判明時期:6月末)	未確定	小学校 4.3人 中学校 27.4人 高等学校 14.6人	小学校 3.9人 中学校 26.2人 高等学校 14.4人	
	活動指標	子どもたちの居場所 づくり・絆づくりに関わ る校内研修等を実施 した学校の割合	91.9% (H26年度)	94.0% (H27年度)	94.3% (H27年度)	1.00 (A)	96.0% (H28年度)	100% (H30年度)	
	活動指標	学校生活の中で子ど もたち一人ひとりのよ い点や可能性を見つ け、子どもたちに伝え るなど積極的に評価 した学校の割合	小学校 97.6% 中学校 99.4%	小学校 98.2% 中学校 99.5%	小学校 99.4% 中学校 98.8%	小 1.00(A) 中 0.99(B)	小学校 98.8% 中学校 99.6%	小学校 100% 中学校 100%	

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(5) 高校生の学びの継続(中途退学への対応)	成果指標	高等学校(全日制)における中途退学率	0.83% (H26年度)	0.80%	未確定 (判明時期:6月末)	未確定	未確定	0.8%以下	各高等学校を中心に高校生生活入門講座への参加の呼びかけを行ってきたが、参加には至らなかった。今後は、小中学校長会や各地区で開催される入学者選抜説明会等において、複数の高等学校の学校生活を知ることが、志願者の主体的な学校選択につながり、また、中学校から高等学校への学びの継続の観点からも大切であることを十分に説明していく。
	活動指標	中学生のときに、複数の学校の高校生生活入門講座に参加した生徒の割合	52.7% (H26年度)	70.0% (H27年度)	52.5% (H27年度)	0.75 (C)	80.0% (H28年度)	100% (H30年度)	
(6) 学びのセーフティネットの構築	成果指標	生活保護世帯に属する子どもの高等学校等進学率	93.5% (H26年度)	94.5% (H27年度)	90.4% (H27年度)	0.96 (B)	96.0% (H28年度)	98.8% (H30年度)	中学校では、生徒の下校時の安全面や、補充学習を担う教員の時間の確保に課題があった。今後は、学校地域支援本部(地域未来塾)の取組を拡充し、外部指導員等の派遣を増やしていく。
	活動指標	放課後を利用した補充的な学習サポートを週2回以上実施した学校の割合	小学校 22.7% 中学校 13.7%	小学校 23.8% 中学校 14.8%	小学校 21.8% 中学校 12.0%	小 0.92(B) 中 0.81(C)	小学校 24.9% 中学校 15.9%	小学校 27.0% 中学校 18.0%	

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(H28年度)

【基本施策6】

地域に開かれ信頼される学校づくり

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(1)開かれた学校づくり	成果指標	地域の行事に参加している子どもの割合	小学生 72.0% 中学生 50.7%	小学生 74.9% 中学生 52.8%	小学生 73.1% 中学生 50.9%	小 0.98(B) 中 0.96(B)	小学生 76.6% 中学生 55.2%	小学生 80.0% 中学生 60.0%	
		家の人が、授業参観や運動会等の学校の行事に来る子どもの割合	小学生 97.6% 中学生 78.9%	小学校 97.7% 中学校 80.2%	小学生 97.5% 中学生 79.7%	小 0.99(B) 中 0.99(B)	小学生 97.8% 中学生 81.5%	小学校 98.0% 中学校 84.0%	
	活動指標	【県・活】コミュニティ・スクールに取り組んでいる小中学校の割合	14.6%	18.0%	17.2%	0.96(B)	21.0%	27.0%	
		【県・活】学校支援地域本部に取り組んでいる小中学校の割合	42.0%	44.0%	48.1%	1.00(A)	46.0%	50.8%	
(2)学校の特色化・魅力化	成果指標	目標をもって学習や活動に取り組んでいる子どもたちの割合	75.7%	76.7%	79.8%	1.00(A)	80.0%	80.0%	
	活動指標	【県・活】地域の活性化に向けて特色ある教育活動に取り組んでいる高等学校の数	14校	20校	23校	1.00(A)	25校	35校	

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(3)教職員の 資質向上とコン プライアンスの 推進	成果 指標	【県・活】 授業で主体的・協働 的に学習に取り組ん でいると感じる子ども たちの割合	小学生 71.0% 中学生 69.9%	小学生 73.2% 中学生 72.0%	小学生 75.0% 中学生 73.1%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学生 75.4% 中学生 74.0%	小学生 80.0% 中学生 78.0%	
	活動 指標	教職員一人あたりの 研修への参加回数	2.74回	2.76回	2.74回	0.99 (B)	2.77回	2.79回	
		教員採用選考試験受 験者数	2,920人程度	2,970人	2,900人	0.98 (B)	3,010人	3,100人	
(4)教職員が 働きやすい環 境づくり	成果 指標	教職員の満足度	61.9点	62.3点	62.0点	0.99 (B)	62.7点	63.5点	
	活動 指標	総勤務時間縮減に向 けた取組を新たに実 施した学校の割合	—	40.0%	85.2%	1.00 (A)	100.0%	80.0%	
		在職者に占める精神 神経系疾患による休 職者の割合	0.59% (H26年度)	0.57%以下 (H27年度)	0.65% (H27年度)	0.88 (B)	0.61%以下 (H28年度)	0.53%以下 (H30年度)	

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(5)学校施設の 充実	成果 指標	【県・活】 学校の屋内運動場等 の天井等落下防災対 策の未完了数	県立学校131棟 市町立学校92棟 (H26年度)	県立学校83棟 市町立学校29棟	県立学校82棟 市町立学校32棟 【速報値】	県立 1.00(A) 市町立0.91(B)	県立学校65棟 市町立学校25棟	県立学校0棟 市町立学校23棟	
	活動 指標	県立学校の身体障が い者等対応エレベ ーター設置率	56.8%	56.8%	56.8%	1.00 (A)	58.1%	60.0%	

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(H28年度)

【基本施策7】

多様な主体による教育の推進と文化財の保護

【県】…みえ県民カビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(1)家庭の教育力の向上	成果指標	子どもたちの家庭学習の状況	【小学校】 平日 58.4% 休日 45.8%	【小学校】 平日 60.0% 休日 48.0%	【小学校】 平日 60.4% 休日 49.0%	【小学校】 平日 1.00(A) 休日 1.00(A)	【小学校】 平日 61.0% 休日 51.0%	【小学校】 平日 63.0% 休日 57.0%	
			【中学校】 平日 66.5% 休日 59.9%	【中学校】 平日 67.0% 休日 62.0%	【中学校】 平日 65.2% 休日 59.8%	【中学校】 平日 0.97(B) 休日 0.96(B)	【中学校】 平日 68.0% 休日 65.0%	【中学校】 平日 70.0% 休日 69.0%	
	活動指標	生活習慣・読書習慣チェックシートでの取組後、生活指導等に活用している小中学校の割合	小学校 87.5% 中学校 81.9%	小学校 91.0% 中学校 86.5%	小学校 91.2% 中学校 87.3%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 94.0% 中学校 91.0%	小学校 100% 中学校 100%	
		【県・活】【創】 県立高等学校においてライフプラン教育に関する取組を実施した割合	58.6%	60.0%	62.1%	1.00(A)	75.0%	100%	
(2)社会教育の推進と地域の教育力の向上	成果指標	【県・活】 地域の教育関係者のネットワークへの参画者数	—	200人	220人	1.00(A)	300人(累計)	500人	
	活動指標	交流の場の開催回数(累計)	—	10回	10回	1.00(A)	20回(累計)	40回	

施策名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(3)文化財の 保存・継承・活用	成果 指標	【県・活】 文化財情報アクセス 件数	202,960件	210,000件	212,639件 (見込)	1.00 (A)	216,000件	228,000件	
	活動 指標	三重県内の国・県指 定等文化財数(累計)	1,078件 (H26年度)	1,125件	1,124件	0.98 (B)	1,150件	1,200件	

三重県教育ビジョン 数値目標実績一覧(H28年度)

【重点取組】

【県】…みえ県民力ビジョンで使用している指標

【創】…三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略で使用している指標

重点取組名	指標名	現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について	
			目標値	実績値		目標値			
(1)学力の向上	全体指標	【県・県】 全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科数	0	2	2	1.00 (A)	4	8 (全教科)	
		子どもたちの自尊感情の状況	小学校 82.1% 中学校 78.1%	小学校 82.4% 中学校 78.5%	小学校 82.7% 中学校 79.0%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 82.8% 中学校 79.5%	小学校 83.0% 中学校 80.0%	
	個別指標	【県・活】 (1)授業内容を理解している子どもたちの割合	【小学校】 国語 82.2% 算数 81.3%	【小学校】 国語 83.5% 算数 83.0%	【小学校】 国語 81.4% 算数 82.6%	【小学校】 国語 0.97(B) 算数 0.99(B)	【小学校】 国語 85.0% 算数 85.0%	【小学校】 国語 88.0% 算数 88.0%	
			【中学校】 国語 76.3% 数学 75.4%	【中学校】 国語 77.0% 数学 75.8%	【中学校】 国語 75.4% 数学 74.9%	【中学校】 国語 0.98(B) 数学 0.99(B)	【中学校】 国語 78.0% 数学 76.2%	【中学校】 国語 84.0% 数学 77.0%	
		(2)子どもたちの家庭学習の状況<再掲>	【小学生】 平日 58.4% 休日 45.8%	【小学生】 平日 60.0% 休日 48.0%	【小学校】 平日 60.4% 休日 49.0%	【小学校】 平日 1.00(A) 休日 1.00(A)	【小学校】 平日 61.0% 休日 51.0%	【小学生】 平日 63.0% 休日 57.0%	
			【中学生】 平日 66.5% 休日 59.9%	【中学校】 平日 67.0% 休日 62.0%	【中学校】 平日 65.2% 休日 59.8%	【中学校】 平日 0.97(B) 休日 0.96(B)	【中学校】 平日 68.0% 休日 65.0%	【中学生】 平日 70.0% 休日 69.0%	
		【県・活】 (3)授業時間以外に読書をする子どもたちの割合<再掲>	小学生 61.1% 中学生 48.6%	小学校 62.3% 中学校 50.2%	小学校 62.4% 中学校 46.4%	小 1.00(A) 中 0.92(B)	小学校 63.5% 中学校 51.8%	小学生 66.0% 中学生 55.0%	

重点取組名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(2)体力の向上と学校スポーツの推進	全体指標	【県・県】【創】 全国体力・運動能力、 運動習慣等調査の結果	48.5	49.0	48.7	0.99 (B)	49.5	51.0	
	個別指標	(1)運動やスポーツを することが好きな子ども たちの割合	88.3%	88.5%	87.4%	0.99 (B)	88.7%	89.2%	
		(2)全国大会での入 賞件数	109件	141件	103件	0.73 (C)	148件	162件	平成28年度は目標達成に至らなかった。 今後は、運動部活動の活性化及び競技力向上に向け、引き続き、教員を対象に選手のやる気向上につながる研修や実技指導を実施していく。 また、スポーツ推進局は、中・高等学校に強化指定部をおき、継続的に活動を支援していく。
		(3)H30年度全国高等学校総合体育大会の準備・大会開催に関わった高校生の数	0人	110人	282人	1.00 (A)	1,100人	7900人 (H30年度)	

重点取組名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(3)心の教育の推進	全体指標	【県・県】 自分には、よいところがあるがあると思う子どもたちの割合	小学生 75.1% 中学生 69.4%	小学生 76.5% 中学生 70.8%	小学生 75.5% 中学生 71.3%	小 0.99(B) 中 1.00(A)	小学生 78.0% 中学生 72.2%	小学生 81.0% 中学生 75.0%	
	活動指標	【県・活】 (1)小学校の児童との交流を行った幼稚園等の割合 <再掲>	—	76.3%	54.7%	0.72 (C)	84.2%	100%	公立幼稚園においては向上(+6.8%)したが、保育所・子ども園・私立幼稚園では、小学校の児童と交流する行事が減り、数値が減少した。市町の福祉部局や教育委員会に対し、行事等における小学校児童との交流の推進を働きかける。
		(2)人権学習によって、人権を守りたいと感じるようになった子どもたちの割合<再掲>	70.2%	75.0%	74.0%	0.99 (B)	77.0%	80.0%	
		(3)道徳教育推進教師を中心として学校全体で道徳教育に取り組んでいる学校の割合<再掲>	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%	

重点取組名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(4)グローバル 人材の育成	全体 指標	将来の夢や目標を 持っている子どもたち の割合	小学生 85.3% 中学生 71.7%	小学校 87.0% 中学校 72.6%	小学校 83.7% 中学校 71.0%	小 0.96(B) 中 0.98(B)	小学校 88.0% 中学校 73.4%	小学生 90.0% 中学生 75.0%	
	個別 指標	【県・活】 (1)海外留学(短期留 学を含む)や海外研 修等に参加した高校 生の数	350人	368人	457人	1.00 (A)	405人	480人	
		(2)生徒が社会の出来 事や郷土三重につ いて、自分の考えや 意見を発信する取組 を実施している中学 校の割合	41.4%	44.0%	50.7%	1.00 (A)	46.0%	50.0%	
		(3)英検準1級以上 相当の英語力を有す る英語教員の割合	中学校 32.0% 高等学校 62.4%	中学校 45.0% 高等学校 72.0%	中学校 32.1% 高等学校 64.0%	中 0.71(C) 高 0.89(B)	中学校 50.0% 高等学校 75.0%	中学校 55.0% 高等学校 77.0%	全国平均(32.0%)を上回っているものの、さらなる研修の充実が必要である。今後は、新たに市町等教育委員会と連携した県内14地域で開催する研修等を実施する。
		【県・活】 (4)地域等の人材を 招へいた授業等を行 っている学校の割合 <再掲>	小学校 82.9% 中学校 64.0% 高等学校 98.5%	小学校 84.0% 中学校 65.5% 高等学校 100%	小学校 88.4% 中学校 74.2% 高等学校 100%	小 1.00(A) 中 1.00(A) 高 1.00(A)	小学校 89.0% 中学校 75.0% 高等学校 100%	小学校 87.0% 中学校 70.0% 高等学校 100%	

重点取組名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(5)特別支援 教育の推進	全体 指標	特別支援学校高等部 卒業生の就職率	30.3% (H26年度)	30.8%	31.0%	1.00 (A)	31.2%	32%	
	個別 指標	【県・活】 (1)特別支援学級に おいてパーソナルカ ルテを活用している小 中学校の割合<再掲 >	59.2%	70.0%	70.7%	1.00 (A)	74.7%	100%	
		【県・活】 (2)特別支援学校版 キャリア教育プログラ ムを作成した特別支 援学校の割合<再掲 >	37.5%	50.0%	62.5%	1.00 (A)	68.0%	100%	
		【県・活】 (3)「三重県特別支援 教育推進基本計画」 に基づき整備された 特別支援学校数	—	0校	0校	—	2校(累計)	3校(累計)	

重点取組名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(6)誰もが安心 できる学び場 づくり	全体 指標	【県・県】 学校生活に安心を感じ ている子どもたちの 割合	92.3%	93.0%	92.7%	0.99 (B)	93.4%	95.0%	
	個別 指標	(1)「自助」の力を育 む防災教育に取り組 んでいる学校の割合	73.5%	70.0%	75.7%	1.00 (A)	80.0%	100%	
		【県・活】 (2)いじめの認知件 数に対して、年度内に 解消したものの割合	92.8%	94.0%	未確定 (判明時期：6月末)	未確定	95.0%	100%	
		(3)生活保護世帯に 属する子どもの高等 学校等進学率<再掲 >	93.5% (H26年度)	94.5% (H27年度)	90.4% (H27年度)	0.96 (B)	96.0% (H28年度)	98.8% (H30年度)	

重点取組名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(7)地域に関 かれ輝く学校 づくり	全体 指標	学校に満足している 子どもたちの割合	82.5%	83.5%	84.1%	1.00 (A)	84.5%	86.5%	
	個別 指標	【県・県】 (1)コミュニティ・ス クール等に取り組ん でいる市町の割合	65.5%	69.0%	72.4%	1.00 (A)	72.4%	86.2%	
		【県・活】 (2)地域の活性化に 向けて特色ある教育 活動に取り組んでい る高等学校の数<再 掲>	14校	20校	23校	1.00 (A)	25校	35校	

重点取組名	指標名		現状値 (H27年度)	H28年度		目標達成状況 (進展度)	H29年度	目標値 (H31年度)	目標達成状況がCまたはDの 理由及び今後の対策について
				目標値	実績値		目標値		
(8)教職員の 資質向上	全体 指標	【県・活】 授業で主体的・協働 的に学習に取り組ん でいると感じる子ども たちの割合<再掲>	小学校 71.0% 中学校 69.9%	小学校 73.2% 中学校 72.0%	小学校 75.0% 中学校 73.1%	小 1.00(A) 中 1.00(A)	小学校 75.4% 中学校 74.0%	小学校 80.0% 中学校 78.0%	
	個別 指標	(1)県内の教育団体・ 教育研究会等と連携 して実施した研修講 座数	40講座	45講座	48講座	1.00 (A)	50講座	60講座	
		(2)校内外の研修や 研究会の成果を教育 活動に反映している 学校の割合	小学校 97.6% 中学校 90.7% 県立学校 86.7%	小学校 98.0% 中学校 91.0% 県立学校 87.0%	小学校 96.7% 中学校 91.7% 県立学校 91.4%	小 0.99(B) 中 1.00(A) 県立 1.00(A)	小学校 99.0% 中学校 92.0% 県立学校 88.0%	小学校 100% 中学校 94.0% 県立学校 90.0%	
		(3)学級運営の状況 や課題を全教職員 の間で共有し、組織 的に取り組んでいる学 校の割合	小学校 64.2% 中学校 50.3% 県立学校 27.7%	小学校 65.0% 中学校 55.0% 県立学校 40.0%	小学校 63.4% 中学校 59.0% 県立学校 27.2%	小 0.98(B) 中 1.00(A) 県立 0.68(D)	小学校 67.0% 中学校 57.0% 県立学校 42.0%	小学校 71.0% 中学校 61.0% 県立学校 46.0%	県立学校では、学級運営の状 況や課題について、学校全体 としての共有が不十分な面も あった。 今後は、管理職研修や経験年 次別研修において、めざす学 校像実現に向けた課題や取組 の共有、対話と気づきの重要 性等、学校改善活動に対する 理解を深め、組織的・継続的 な改善活動を促進する。 また、ブロック別県立校長会等 において、学校マネジメント シートの活用状況等につい て聞き取るとともに、学級運営 の状況や課題を、全教職員間 で共有し、組織的な取組が進 むよう働きかけていく。

4 平成30年度三重県立高等学校募集定員総数の策定について

1 平成30年3月中学校卒業生数

平成30年3月の県内中学校卒業生は、平成29年3月の卒業生 17,512 人に比べ、53 人減少し、17,459 人となることを見込まれます。

2 全日制課程

(1) 平成30年度の県内全日制高等学校への入学者数の算定にあたっては、前年度の本県高等学校進学状況の実績および県内中学校3年生の進路希望状況等を勘案して、全日制進学率を92.0%、流出入率を98.6%としました。その結果、平成30年度県内全日制高等学校入学者数を前年度の15,904 人に比べ67 人少ない、15,837 人と見込みました。

(2) このことから、県立高等学校全日制募集定員総数は、前年度の入学状況の実態や県内私立高等学校の募集定員等をふまえて、前年度の12,320 人に比べ80 人少ない、12,240 人としました。

3 定時制課程

前年度と同数の770 人を募集することとしました。

4 通信制課程

前年度と同数の500 人を募集することとしました。

《 参 考 》

中学校卒業生数の推移と予測

平成29年5月1日 教育政策課調べ

		H29.3	H30.3	H31.3	H32.3	H33.3	H34.3	H35.3	H36.3	H37.3	H38.3
		卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
県内合計	卒業生数	17,512	17,459	16,795	16,445	15,692	16,171	15,968	15,901	15,614	15,434
	前年度対比	-336	-53	-664	-350	-753	479	-203	-67	-287	-180
	H29.3対比		-53	-717	-1,067	-1,820	-1,341	-1,544	-1,611	-1,898	-2,078

なお、高等学校募集定員に係る公私比率等については、平成25年12月、公私比率等検討部会で平成33年度までの中長期的な方向性をまとめ、平成30年度を目途に検証することとしており、平成29年度中に部会をあらためて設置し、これまでの取組状況等の検証を行います。

項目	数値	説明事項			備考
		前年度実績値	前年度計画値	前年度計画値との対比	

A 中学校卒業見込み生徒数 (人)	17,459	17,512	17,514	-53	この項のみ前年度実績対比
-------------------	--------	--------	--------	-----	--------------

全 日 制	B 進学率 (%)	92.0	90.1	92.1	-0.1	
	C 進学者数 (人)	16,062	15,785	16,130	-68	$C = A \times B / 100$
	D 流出入率 (%)	98.6	98.6	98.6	0.0	直近3年の平均
	E 県内高校への入学者数 (人)	15,837	15,354	15,904	-67	$E = C \times D / 100$
	F 県立高校募集定員 (人)	12,240	12,170	12,320	-80	
	G 県内私立高校の募集定員 (人)	3,660	3,388	3,660	0	
	H 県内公私立高校の総定員 (人)	15,900	15,558	15,980	-80	$H = F + G$

定 時 制	I 進学率 (%)	2.2	2.1	2.2	0.0	直近3年の平均
	J 進学者数 (人)	384	372	385	-1	
	K 県立高校募集定員 (人)	770	401	770	0	

特別 支援	L 進学率 (%)	0.9	0.9	0.9	0.0	直近3年の平均
	M 進学者数 (人)	157	159	158	-1	

N 県内高校への入学者数に対する公私比率	77.3 : 23.1	78.2 : 21.8	77.5 : 23.0		
----------------------	-------------	-------------	-------------	--	--

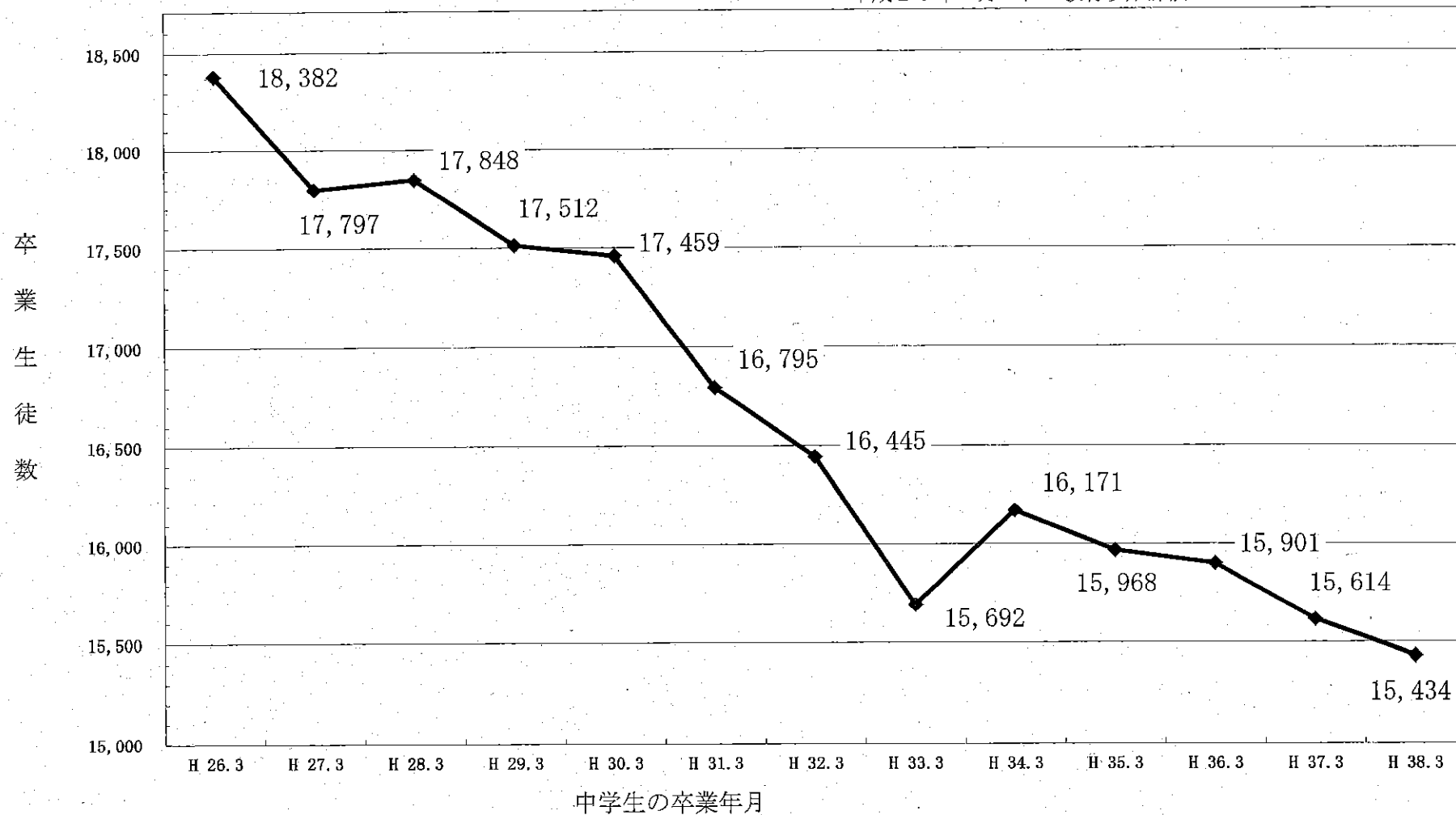
(参考)

高 専	O 進学率 (%)	2.3	2.4	2.2	0.1	直近3年の平均
	P 進学者数 (人)	402	414	385	17	

Q 進学者総数 (人)	17,005	16,730	17,058	-53	$Q = C + J + M + P$
R 総進学率 (%)	97.4	95.5	97.4	0.0	

三重県中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)

平成29年5月1日 教育政策課調べ



三重県 中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)

平成29年5月1日 教育政策課調べ

		H 26.3	H 27.3	H 28.3	H 29.3	H 30.3	H 31.3	H 32.3	H 33.3	H 34.3	H 35.3	H 36.3	H 37.3	H 38.3
		卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
桑名	卒業生数	2,252	2,203	2,131	2,127	2,020	2,056	1,979	1,941	1,983	1,971	1,947	1,988	1,910
	前年度対比		-49	-72	-4	-107	36	-77	-38	42	-12	-24	41	-78
	H29.3対比					-107	-71	-148	-186	-144	-156	-180	-139	-217
四日市	卒業生数	3,925	3,786	3,844	3,836	3,839	3,635	3,576	3,397	3,609	3,407	3,476	3,408	3,503
	前年度対比		-139	58	-8	3	-204	-59	-179	212	-202	69	-68	95
	H29.3対比					3	-201	-260	-439	-227	-429	-360	-428	-333
小計	卒業生数	6,177	5,989	5,975	5,963	5,859	5,691	5,555	5,338	5,592	5,378	5,423	5,396	5,413
	前年度対比		-188	-14	-12	-104	-168	-136	-217	254	-214	45	-27	17
	H29.3対比					-104	-272	-408	-625	-371	-585	-540	-567	-550
鈴鹿	卒業生数	2,657	2,573	2,644	2,495	2,556	2,456	2,415	2,227	2,420	2,243	2,455	2,264	2,240
	前年度対比		-84	71	-149	61	-100	-41	-188	193	-177	212	-191	-24
	H29.3対比					61	-39	-80	-268	-75	-252	-40	-231	-255
津	卒業生数	2,808	2,758	2,693	2,657	2,685	2,619	2,674	2,570	2,483	2,589	2,568	2,484	2,457
	前年度対比		-50	-65	-36	28	-66	55	-104	-87	106	-21	-84	-27
	H29.3対比					28	-38	17	-87	-174	-68	-89	-173	-200
伊賀	卒業生数	1,627	1,496	1,607	1,530	1,550	1,470	1,433	1,384	1,391	1,364	1,379	1,359	1,327
	前年度対比		-131	111	-77	20	-80	-37	-49	7	-27	15	-20	-32
	H29.3対比					20	-60	-97	-146	-139	-166	-151	-171	-203
小計	卒業生数	7,092	6,827	6,944	6,682	6,791	6,545	6,522	6,181	6,294	6,196	6,402	6,107	6,024
	前年度対比		-265	117	-262	109	-246	-23	-341	113	-98	206	-295	-83
	H29.3対比					109	-137	-160	-501	-388	-486	-280	-575	-658
松阪	卒業生数	2,025	1,982	2,012	1,986	2,003	1,932	1,919	1,804	1,871	1,944	1,849	1,876	1,806
	前年度対比		-43	30	-26	17	-71	-13	-115	67	73	-95	27	-70
	H29.3対比					17	-54	-67	-182	-115	-42	-137	-110	-180
伊勢	卒業生数	2,398	2,319	2,277	2,263	2,192	2,080	1,969	1,838	1,892	1,960	1,750	1,805	1,750
	前年度対比		-79	-42	-14	-71	-112	-111	-131	54	68	-210	55	-55
	H29.3対比					-71	-183	-294	-425	-371	-303	-513	-458	-513
尾鷲	卒業生数	309	340	289	279	282	241	228	252	249	217	208	191	198
	前年度対比		31	-51	-10	3	-41	-13	24	-3	-32	-9	-17	7
	H29.3対比					3	-38	-51	-27	-30	-62	-71	-88	-81
熊野	卒業生数	381	340	351	339	332	306	252	279	273	273	269	239	243
	前年度対比		-41	11	-12	-7	-26	-54	27	-6	0	-4	-30	4
	H29.3対比					-7	-33	-87	-60	-66	-66	-70	-100	-96
小計	卒業生数	5,113	4,981	4,929	4,867	4,809	4,559	4,368	4,173	4,285	4,394	4,076	4,111	3,997
	前年度対比		-132	-52	-62	-58	-250	-191	-195	112	109	-318	35	-114
	H29.3対比					-58	-308	-499	-694	-582	-473	-791	-756	-870
県内合計	卒業生数	18,382	17,797	17,848	17,512	17,459	16,795	16,445	15,692	16,171	15,968	15,901	15,614	15,434
	前年度対比		-585	51	-336	-53	-664	-350	-753	479	-203	-67	-287	-180
	H29.3対比					-53	-717	-1,067	-1,820	-1,341	-1,544	-1,611	-1,898	-2,078

5 「三重県いじめ防止条例（仮称）」について

1 いじめ防止に係るこれまでの国の動向および県の取組状況

○「いじめ防止対策推進法」（平成 25 年施行）

国において、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、国および地方公共団体等の責務を明らかにし、いじめの防止等のための対策の基本となる事項を定めた法が制定されました。

○「いじめの防止等のための基本的な方針」（平成 25 年）

国において、法に基づき、地方公共団体や学校における基本方針の策定や組織体制、いじめへの組織的な対応、重大事態への対処等に関する具体的な内容や運用を明らかにする方針が策定されました。

その後、国は平成 29 年 3 月に法に基づくいじめ防止に係る取組状況の把握と検証を行い、いじめが「解消している」状態と判断するための要件が初めて示されたほか、学校いじめ防止基本方針に基づく取組の実施状況を学校評価の評価項目に位置づけ、達成状況を評価することなど、「いじめの防止等のための基本的な方針」の改定を行いました。

○「三重県いじめ防止基本方針」（平成 26 年）

本県では、法の趣旨をふまえ、国の基本方針を参酌し、いじめ防止等のための施策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめの未然防止や事案発生時の対応等の基本的な方向を示した方針を策定しました。

すべての学校が、県の方針をふまえ、「学校いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に向けて、教職員がささいな兆候でも、いじめではないかとの疑いを持って、早い段階からの的確に関わりを持つことに努めています。

○「三重県いじめ問題対策連絡協議会」（平成 26 年条例制定）

いじめの防止等に関係する機関および団体の連携を図るため、設置しています。

○「三重県いじめ対策審議会」（平成 26 年条例制定）

いじめ防止等のための調査研究等を行うため、設置しています。

○「三重県いじめ調査委員会」（平成 26 年条例制定）（健康福祉部所管）

知事の諮問に応じ、いじめの調査結果を審議するため、設置しています。

2 条例制定の考え方

いじめは、いじめを受けた児童生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長および人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命または身体に重大な危険を生じさせる恐れがあり、決して許されるものではありません。

本県においては、これまで「三重県いじめ防止基本方針」に基づき、学校を主体としたいじめの防止等の取組を進めてきました。

しかし、インターネットを通じて行われるいじめや大人の言動や振る舞いが子どもに影響を与えるという指摘もあり、いじめは学校だけの問題ではなく、社会

全体の課題としてとらえ、子どもたちに関わるすべての大人が「いじめは絶対に許さない。」「子どもたちを徹底して守り通す。」という姿勢を示し、いじめを生まない社会の実現をめざすことが重要です。

また、すべての児童生徒がいじめを行わず、いじめを認識しながら放置することがないように、いじめが許されない行為であることについて、一人ひとりが十分に理解することが必要です。

そこで、あらためて、いじめは、学校を含めた社会全体の課題であることを共有し、社会総がかりでいじめの問題に対峙するため、「三重県いじめ防止条例（仮称）」を制定します。

【条例内容（イメージ）】

○基本的な考え方

- ・学校、家庭、地域が一体となり、いじめを生まない社会を実現する。
- ・いじめの問題に関する児童生徒の理解を深め、子どもたちがいじめの加害者にも傍観者にもならないようにする。
- ・いじめを行ってはいけない、放置してもいけない。

○社会全体の役割

- ・学校および保護者は、児童生徒一人ひとりの理解に努めるとともに、児童生徒規範意識や他人を思いやる心を養う。
- ・県民は、児童生徒が健やかに成長できる環境づくりに努める。

○具体的な取組

- ・いじめ防止、早期発見、早期対応
- ・調査研究

など

3 条例制定に向けて

（1）条例検討委員会

条例案策定に向けて、幅広く意見を聞くため、有識者、保護者代表、学校関係者等で構成する検討委員会を設置します。

ア 会議の構成 14名

大学教授、弁護士会、臨床心理士会、人権擁護委員連合会、児童養護施設協会、PTA連合会、市町教育長会、校長会、教員、警察

イ 会議の開催 平成29年12月までに3回程度の会議を開催予定

(2) 子どもの声を聞く機会

子どもたちが主体的に参画する仕組みをつくり、子どもの声をていねいに聞き、子ども目線に立った条例になるよう工夫します。

①児童生徒アンケート（平成28年7月実施）

ア 対象 県内の小学校10校（5・6年生）・中学校10校（全学年）の児童生徒3,408人

イ 内容 いじめ経験の有無、教員、保護者への願い等

ウ 結果（概要）

- ・およそ3人に2人は、「過去にいじめの被害や加害の経験をした」と回答しています。
- ・被害者と加害者が入れ替わりながら、多くの子どもたちがいじめに関わった経験を持っています。
- ・教員への願いでは、小学校では「しっかり注意してほしい、叱ってほしい」が多いのに対し、中学校では「一人ひとりをよく見てほしい」が最も多くなっています。
- ・保護者への願いでは、小・中学校ともに、「話を聞いてほしい、相談に乗ってほしい」や、「学校での出来事を聞いてほしい」が多くなっています。

②高校生意見交流会

ア 対象 県立高等学校生徒

イ 時期 平成29年8月

ウ 内容 各校の生徒会において、いじめの問題について議論したことを、代表者が持ち寄り、弁護士による講義を受講後、グループ討議をし、高校生による行動宣言（仮称）をまとめる。

③子どもの声募集

ア 対象 県内の小中学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒

イ 時期 平成29年9月～10月

ウ 内容 児童会、生徒会において、いじめの問題について議論し、いじめを生まない社会にするため、個人でできること、学校・家庭・地域でできること、大人や社会への願い等を考え、提案してもらう。

(3) パブリックコメント

ア 時期 平成29年10月中旬～11月中旬

4 今後の予定（案）

平成29年6月 条例制定について教育警察常任委員会に説明

平成29年10月 条例素案について教育警察常任委員会に説明

平成29年10月

～11月 パブリックコメントの実施

平成29年12月 条例最終案について教育警察常任委員会に説明

平成30年2月 条例案提出

6 平成30年度全国高等学校総合体育大会総合開会式について

全国高等学校総合体育大会は、教育活動の一環として、生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動も含め生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的に毎年度開催（全国を9つに分けてのブロック開催）されています。

こうしたなか、平成30年度の同大会は東海ブロックでの開催となり、その総合開会式については、本県主催により、全国から多数の来賓、選手・監督等に参加いただき開催する予定です。

今後、生徒・高校教員による練習や式典運営に係る各計画の策定など具体的な準備作業が本格化してきます。県民の皆様、関係団体・企業の協力をいただきながら、式の安全かつ円滑な実施を図っていきます。

1 総合開会式

(1) 日時および場所

平成30年8月1日（水）10時から12時まで 三重県営サンアリーナ

(2) 想定参加者（約5,000名）

（内訳）	各都道府県選手団	1,200名
	招待者、一般観覧者等	2,400名
	出演者等（県内高校生）	730名
	運営役員・高校生補助員	670名

(3) 式典の概要（別紙1参照）

選手団入場のあと、前年度優勝杯の返還、あいさつ、選手宣誓等を行うとともに、県内高校生による歓迎演技、選手団激励を行います。

2 総合開会式に係る県内高校生を中心とした取組

(1) 歓迎演技（別紙2参照）

和太鼓演奏やマーチング、体操演技・ダンスを中心に、翌日からはじまる各競技種目別大会に向けた活力を選手に得てもらおうとともに、三重県の魅力を感じていただけるような内容にしていきます。

(2) 式典放送、吹奏楽、合唱

県内高校の放送部生徒を中心に式典アナウンサーを編成し、総合開会式の司会・進行を担当します。また、県内高校の吹奏楽部、合唱部生徒による選手入場曲、ファンファーレ、退場曲等の演奏・合唱を行います。

(3) 草花装飾

県内農業高校を中心に、総合開会式会場における立体装飾や各競技種目別大会会場でのプランターによる草花装飾等を作成します。

※ これらの取組への参加のほか、約 400 名の県内高校生が、受付・会場案内や招待者への対応、来場者の手荷物確認等の補助員として、総合開会式の運営に参加します。

3 式典運営の業務委託

演技・音楽など本県独自の取組に係る内容は、上記のとおり高校生を中心に企画・構想検討を進めているところですが、各都道府県選手団、観覧者等の会場までの輸送や仮設設備の準備も含めた式全体に係る運営計画の策定及びその実施については業務委託を行う予定です。

(1) 実施計画策定業務委託（契約予定時期：平成 29 年 7 月頃）

- 委託業務内容：① 式典進行計画、会場整備計画、警備計画、バス輸送計画等の作成
- ② 各計画に基づく実際の運営を委託するにあたっての必要額の算定

(2) 運営実施業務委託（契約予定時期：平成 30 年 4 月頃）

委託業務内容：各計画の実施

※ 実施計画をもとに算定した額を平成 30 年度予算として計上する予定です。

期 日 : 平成30年8月1日(水)

場 所 : 三重県営サンアリーナ

参加人数 : 約5,000名

参集競技 : 陸上競技、バレーボール(女子)
ウエイトリフティング



大会愛称

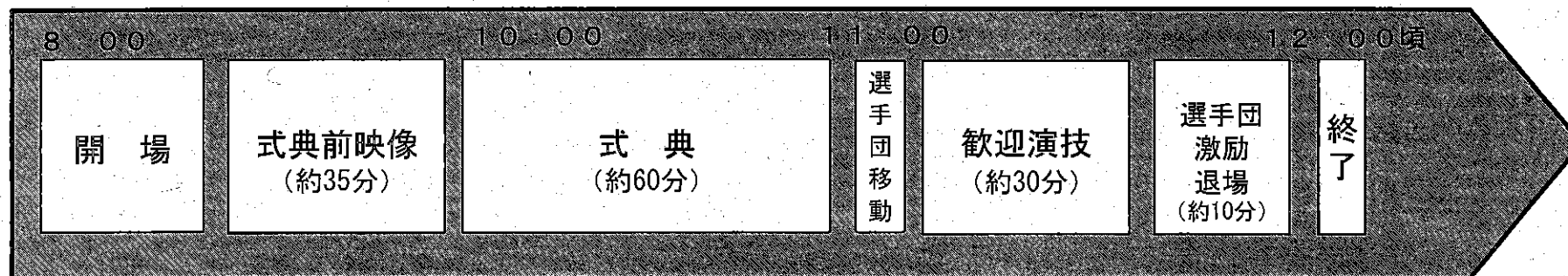
にーまるいちほち

「2018 彩る感動 東海総体」

スローガン

翔べ誰よりも高く東海の空へ

全体の流れ(午前開催)



- 開催4県の郷土紹介
- 競技、競技会場紹介
- 各県高校生活動紹介

他県への協力依頼

- 選手団入場
- 優勝杯返還
- あいさつ
- 選手代表宣誓等

- 和太鼓
- 身体表現
- ダンスパフォーマンス
- マーチング

選手団激励の内容は検討中

式典音楽

- 会場全体が一体となり、式典を盛り上げる演奏
- ・吹奏楽隊
- ・合唱隊
- ・ファンファーレ隊

式典放送

- 高校生式典アナウンサーによる円滑な式典進行
- 東海ブロックの魅力とおもてなしの気持ちを表現する式典前映像

式典・歓迎演技

- 選手団先導隊
- 県内高校生による三重らしさあふれる歓迎演技
- 選手団激励

草花装飾

- 県内の農業科設置高校等による草花でのおもてなし
- ・階段装飾
- ・シンボルマークモニュメント
- ・フラワーアレンジメント
- ・プランター

平成30年度全国高等学校総合体育大会 総合開会式歓迎演技構成

コンセプト
明日からの大会に向けて選手団の活力となるように、三重県のすべての高校生が一体となって力強い歓迎演技を行う。(三重らしさをちりばめた演出で表現する。)

章	演技テーマ	趣旨
歓迎演技 (約30分)	参加する選手たちを歓迎し、心を惹きつける。 「ようこそ 三重へ」という歓迎の気持ちをダイナミックな和太鼓演奏、アクロバティックな体操演技、三重を連想させる新体操の演技で表現する。	すべての高校生の祭典を印象付ける。
	選手たちをリラックスさせ、心理的な距離を縮める。 三重県を実感してもらうために、高校生の司会で三重県の紹介やユニークな活動をしている県内高校生の紹介を行う。	選手たちの緊張や不安を和らげ、応援する三重県との心理的な距離を縮める。
	選手たちに試合前にも通じる緊張感を感じてもらう。 実際の競技のように直前に精神を集中させる緊張感を、大勢の体育系の高校生が細部まで意思の行き渡ったダンスで表現する。	選手に爆発的な力の発現前のエネルギーを溜めてもらう。
	選手たちがテンションを上げ、チャレンジする精神を感じてもらう。 積み重ねてきたものの重み、それを礎に新しいことに挑戦する意欲を感じてもらうように、仲間と協力し最大限に力を発揮する情熱溢れる様子を、マーチングの演奏と体育系の生徒によるフラッグ演技のコラボレーションにより表現する。	力強い表現にふれることで気持ちを奮い立たせる。
	選手たちの体内に明日からの大会に向けた活力をみなぎらせる。 選手たちの明日からの活躍を祈念して、式典音楽隊による演奏をバックにダンス隊が演技をするとともに、大会に関わるすべての生徒が加わって、一体感溢れる動きを表現する。	選手たちとの一体感をつくりながら、大会に向けた活力を届ける。

7 審議会等の審議状況について（平成29年2月15日～平成29年6月4日）

1 三重県教育改革推進会議

1 審議会等の名称	第5回 三重県教育改革推進会議
2 開催年月日	平成29年2月20日
3 委員	会長 山田 康彦 副会長 藤原 正範 委員 浅川 由子 他6名（出席者計9名）
4 諮問事項	県立高等学校活性化計画（最終案）について 教員の育成について
5 調査審議結果	<p>県立高等学校活性化計画（最終案）について （主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な考え方を修正したことにより、子どもたちの考える力を育てるという趣旨が弱くなっている箇所があるので検討が必要である。 ・「選ばれる高等学校」という表現について、生徒や保護者に選ばれるといった表現を加えた方が意図がより明確になるのではないか。 <p>教員の育成について （主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員養成・採用・研修のすべての段階において、次期学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」を実現するための視点をもつことが重要である。 ・教員の多忙化解消のため、教員定数の確保に加えて業務を効率化していくことが不可欠である。 ・新任教員については人員配置で配慮したり、管理職や周囲がフォローするなどして、力を発揮できる環境を整えることが重要である。 ・研修は充実しつつあり、実を結んできていると感じる。一方、校内研究の蓄積が共有化されていないので、研究成果の普及に努めるべきである。 ・養成・採用・研修のすべての段階において、大学と教育委員会の緊密な連携を図っていくことが必要である。 ・教員養成の段階において、保護者・地域への対応など現場の具体的な事例を用いて教えることが求められており、大学では養成教育の内容の検討を進めている。
6 備考	次回開催予定： 平成29年8月

2 三重県教科用図書選定審議会

1 審議会等の名称	第1回三重県教科用図書選定審議会
2 開催年月日	平成29年4月27日
3 委員	会長 鶴原 清志 副会長 西 惠美子 委員 山北 哲 他17名 (出席者計18名)
4 諮問事項	平成30年度に小学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について
5 調査審議結果	平成30年度に小学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について、市町教育委 員会等に対して指導、助言又は援助するための資 料として、以下の(1)～(5)について審議を 行い、決定されました。 (1) 教科用図書採択地区協議会規約例 (2) 教科用図書採択地区における小学校で使用 する「特別の教科 道徳」の教科用図書の 採択基準 (3) 三重県教科用図書選定審議会調査員の調査 実施項目 (4) 三重県教科用図書選定審議会調査員の選任 (5) 教科書採択における公正確保の徹底
6 備考	次回開催： 平成29年6月19日

3 三重県いじめ対策審議会

1 審議会等の名称	三重県いじめ対策審議会
2 開催年月日	平成 29 年 3 月 9 日
3 委員	会 長 齋藤 洋一 副会長 尾高 健太郎 他 委員 2 名 (出席者計 4 名)
4 諮問事項	いじめ事案への対応について
5 調査審議結果	<p>県内のいじめの問題の現状および国の動向等について報告しました。また、県立学校における事案をもとに、学校の取組や関係機関等との連携について、専門的な立場から意見をいただきました。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS というツールを得た子どもたちが、それを利用していじめ事案が発生するのは、学校だけの問題ではない。 ・ 審議会が調査にあたる場合は、当事者の子どもたちが仲良く過ごしていくためには、どのようなことが必要かを考える方向で議論していくことも必要である。 ・ 発生したいじめの問題への対応だけを考えるのではなく、幼い頃から意図的に人間関係や負の感情処理をどうしていくのかを教えていくべきである。 ・ いじめの問題については、被害者・加害者双方の気持ちを汲み取り、行為への対応だけではなく、人間関係の築き方等を身につけられるようなケアを行う必要がある。
6 備考	次回開催予定： 平成 29 年 10 月

4 三重県社会教育委員の会議

1 審議会等の名称	三重県社会教育委員の会議
2 開催年月日	平成 29 年 2 月 23 日
3 委員	座長 東福寺 一郎 委員 伊藤 卓哉 他 4 名 (出席者計 6 名)
4 諮問事項	「子どもの学びや活動を支える社会教育の推進」について
5 調査審議結果	<p>平成 28 年度の審議テーマ「子どもの学びや活動を支える社会教育の推進」について審議し、学校支援等のコーディネーターやボランティア等の地域人材の発掘や養成等について意見をいただきました。</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員が、地域と学校とのつなぎ役として、統括コーディネーター的な役割を担うなどして社会教育を推進していく必要がある。 ・コーディネーターの発掘については、退職校長会、元 P T A の役員との連携を検討してはどうか。 ・子どもたちに必要な体験について考えたとき、学校運営協議会に、保護者や地域の代表だけでなく、地域の福祉関係者、商工関係者に入ってもらえるのも良いのではないか。
6 備考	次回開催予定： 平成 29 年 7 月 19 日

県外からの県立高等学校への入学志願について

1 経緯

- 全日制高校を対象に県外から入学した生徒の状況等を調査したところ、平成 29 年 5 月 11 日現在、116 人（8 校）の生徒の保護者が県内に居住していない状況でした。
- 116 人の生徒については、学習機会を保障するために、学校と保証人の役割を明確にして、責任を持って生徒の安全安心が確保される体制を整えたうえで、「在学承認申請書」と「保証人届」の提出により、6 月末までに規則に反する状況を解消することとしました。
- 平成 30 年度入学者選抜については、現中学 3 年生への影響に配慮し、県外からの入学志願は、保護者の県内転住を原則としつつ、生徒の安全安心を見守る保証人となる者が確保されている場合は、出願できることとしました。
- 平成 31 年度以降の入学者選抜については、三重県立高等学校入学者選抜制度検証会（以下「検証会」という。）の意見をふまえ、その在り方を検討する必要がある場合には、検討会を 7 月に設置することとしていました。

※ 検証会は、平成 22 年度に設置し、入学者選抜が生徒の主体的な進路選択や入学後の学習意欲につながっているか、適正で円滑な入学者選抜が行われているかなどについて、前年度の入学者選抜を検証し、次年度の実施につなげるため、毎年 3 回程度開催しています。委員は、公立中学校、県立高校、私立高校、PTA の代表です。

2 検証会での意見の概要

6 月 12 日に開催した本年度第 1 回の検証会では、例年この時期に行っている議題のほか、県外からの入学についての意見をいただきました。

県内の中学生の進路実現を大切にしてほしいという意見や、少子化が進むなかで県内外の生徒が学びたくなる学校の特色化が必要であるなど多様な意見が出されました。

また、平成 31 年度以降の入学者選抜については、さまざまな観点からさらに議論すべきであるという意見がありました。

<委員の主な意見>

- ・ 子どもの学ぶ権利を保障することが大切であり、県内の中学生の進路を大切にしてほしい。
- ・ 県外出身の中学生が合格したことにより、県内の中学生が不合格になった可能性がある。

- ・ 地域の子どもが地域で学べるということが基本である。
- ・ 県立高等学校が全国募集を行うことについては反対である。
- ・ 県外から入学する生徒による県内の生徒への影響を考慮して定員を決めていかなければならない。
- ・ 県が競技力向上を進めている中で、部活動がしたくて県外から入学してくる生徒もいる。さまざまな観点から考えなければならない。
- ・ 部活動も含め中学生から選ばれる学校とは、自分のやりたいことが高いレベルで実現できる学校である。
- ・ 南部地域には、少子化が進み教育活動に支障が出ている高校があり、教育の機会が失われつつある実態を心配している。
- ・ 希望して県外から入学できる制度ができれば、一定の学校の規模が維持できるのではないか。
- ・ 地域の活性化については、地域ごとに課題が違うので、一律に行うことは難しい。時間をかけて議論すべきである。

3 これまでの入学者選抜制度の改正に係る検討方法

これまで、入学者選抜制度を改正した際には、検証会とは別に、改めて検討会を設け、学識経験者や学校関係者等により協議・検討を行っています。

平成 16、17 年度には前期選抜・後期選抜に係る選抜制度の在り方を、平成 25 年度にはスポーツ特別枠選抜の在り方をそれぞれ検討するために検討会を設置しています。検討会の委員は、検討内容に応じて、公立中学校、県立高校、PTA、市町教育委員会、大学、企業の代表者等による構成となっています。

4 今後の対応

学校において規則に反する状況が慣例的に継続してきたことについては、県教育委員会が実態を確認する仕組みを設けていなかったことや、学校への制度の周知・指導が不十分であったこと等に原因があり、的確な事務執行の責務を有する県教育委員会の組織運営に問題がありました。こうしたことから、入学者選抜制度の在り方を検討する場合には、さまざまな立場の方から幅広い意見を聞く必要があると考えています。入学者選抜は、子どもたちの高等学校での学びや将来につながる重要な事項であり、今後、検討会を設置するかどうかについては、教育委員会定例会（6月26日）を経て早急に決定します。